

第6節 渡名喜島

第1項 取り組み概要

島の活性化に取り組む組合が次年度組織される事もあり、組合での受入れに繋がる地盤が作れるよう地域の巻き込みを意識して受入れを行った。また、プログラムの流れを定着させる事をねらいとし、受入れ回数を多く設定し取り組んだ。

第2項 造成プログラム一覧

- 1 島のお母さん達から教わる島野菜・山菜料理
- 2 ファミリー大歓迎！無農薬栽培にこだわる渡名喜島の食材を満喫
- 3 島自慢の味、冬の美味マンビカー干物づくりと釣り体験

第3項 実施ツアー一覧

＜参加者合計：151名(27名)＞

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
島のお母さん達から教わる 島野菜・山菜料理	16/10/26(水)	2泊3日	民宿	10名	2名
	16/11/30(水)	2泊3日	民宿	10名	4名
	17/01/18(水)	2泊3日	民宿	10名	9名
	17/01/25(水)	2泊3日	民宿	10名	6名
ファミリー大歓迎！無農薬栽培にこだわる 渡名喜島の食材を満喫	16/12/03(土)	1泊2日	民宿	12名	9(3)名
	16/12/24(土)	1泊2日	民宿	12名	10名
	17/01/07(土)	1泊2日	民宿	12名	12(5)名
	17/02/04(土)	1泊2日	民宿	12名	12(1)名
	17/02/18(土)	1泊2日	民宿	12名	18(6)名
	17/02/25(土)	1泊2日	民宿	12名	23(7)名
	17/03/04(土)	1泊2日	民宿	12名	16(3)名
島自慢の味、冬の美味 マンビカー干物づくりと釣り体験	17/03/03(金)	1泊2日	民宿	6名	6名
	17/03/05(日)	1泊2日	民宿	6名	3名
	17/03/10(金)	1泊2日	民宿	6名	6名
	17/03/17(金)	1泊2日	民宿	6名	7名

※表中の()内は助成対象外の内数

第4項 ツアー概要

1. 島のお母さん達から教わる島野菜・山菜料理

ツアー紹介文：

島の自然に育まれた陸の幸を収穫し、島の特産品もつくるほど料理上手なお母さん方と一緒に料理づくりも体験できます。時期によっては、「無農薬栽培」にこだわって作られた、島にんじんも収穫できます。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	7:40	集合
	7:55	【結団式】事業説明、諸連絡など
	8:30	泊港よりフェリーにて出発
	10:15	渡名喜港到着、コーディネーターと合流
	10:30	徒歩にてオリエンテーション会場へ移動
	11:00	【オリエンテーション】 会場：ふくぎ食堂
	11:30	昼食
		徒歩にてモニタープログラム会場へ移動
	13:00	【モニタープログラム】島のお母さん達から教わる島野菜・山菜料理 ・山菜採り、島野菜収穫 会場：農産物加工場
15:30	終了、フリータイム	
19:00	夕食 (宿泊：島内民宿)	
2 日 目	8:00	朝食・フリータイム
		昼食
	13:00	【モニタープログラム】 (徒歩にてモニタープログラム会場へ集合) 島のお母さん達から教わる島野菜・山菜料理 ・山菜料理、島野菜調理体験 会場：農産物加工場
	16:00	終了、フリータイム
	19:00	【夕食交流会】 会場：ふくぎ食堂(徒歩にて会場へ集合)
	21:00	終了、徒歩にて宿泊先へ移動 (宿泊：島内民宿)
3 日 目	6:30	朝起き会 チェックアウト
	8:00	朝食
	8:30	【振り返りゆんたく会】 会場：ふくぎ食堂 (意見交換・アンケート)
	9:30	終了、アンケート回収 徒歩にて渡名喜港へ移動
	10:05	渡名喜港よりフェリーにて出発
	11:50	泊港到着、解散

実施写真：



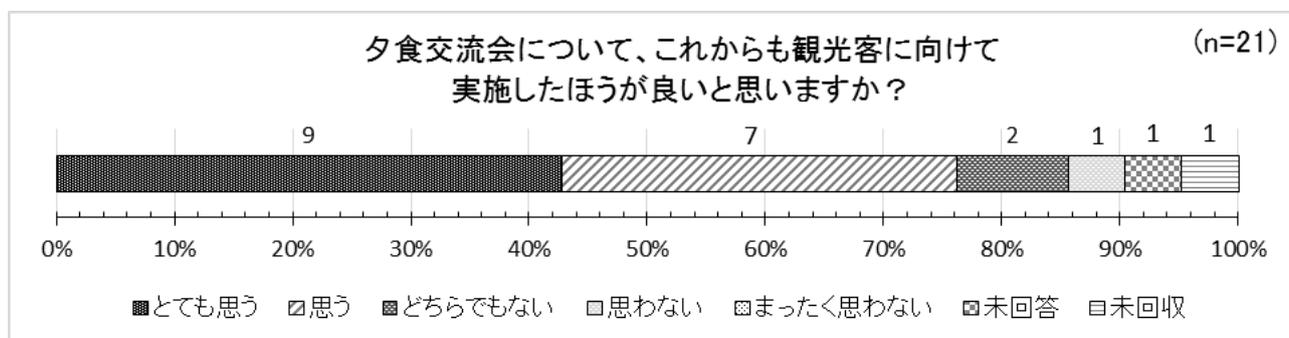
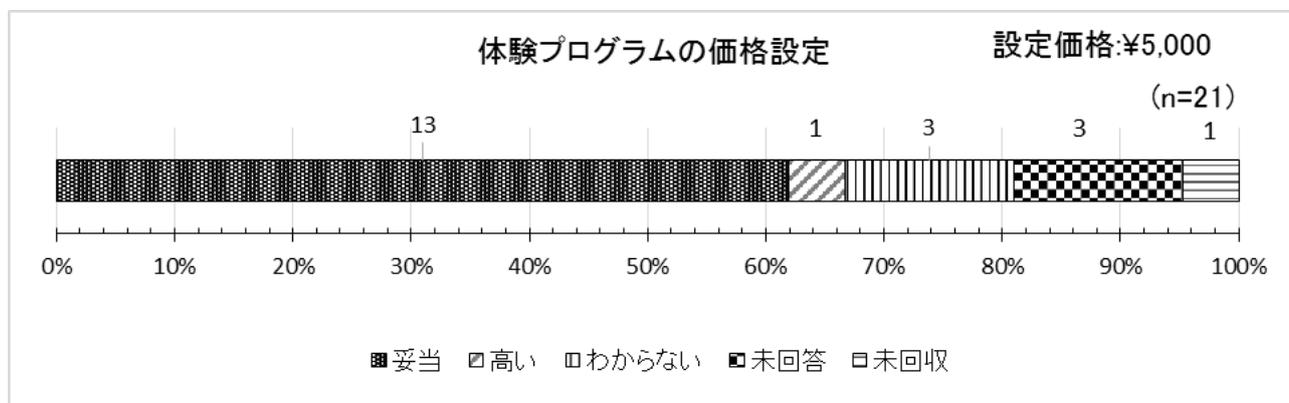
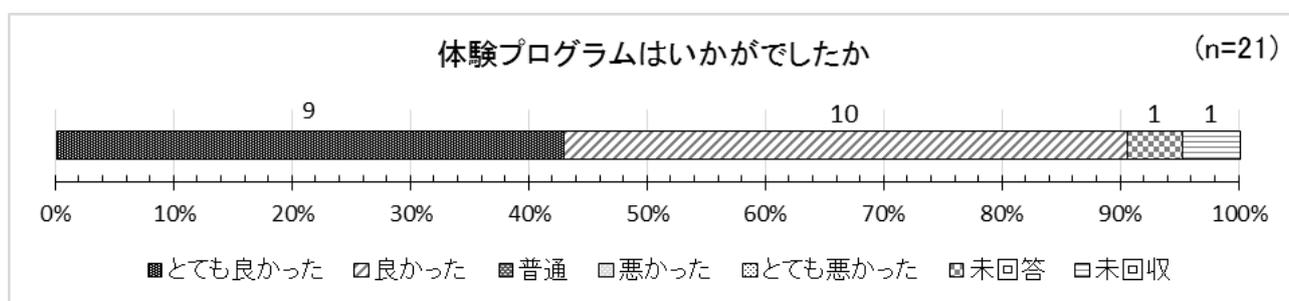
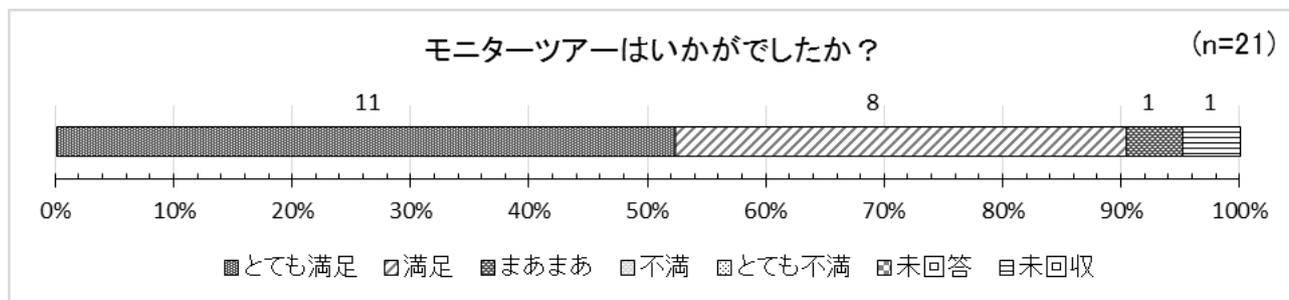
■成果

- ・商品化に向けてプログラムの定着やガイド育成に繋がった。

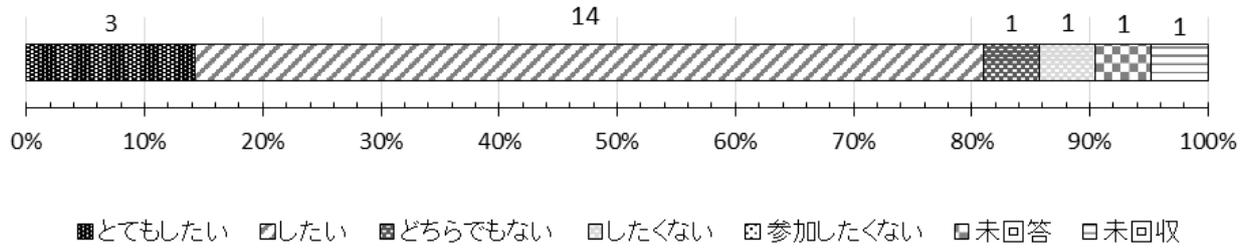
■課題

- ・時期によって収穫できるものが異なるため、時期に合わせた体験内容を検討する必要がある。

モニターアンケート結果：

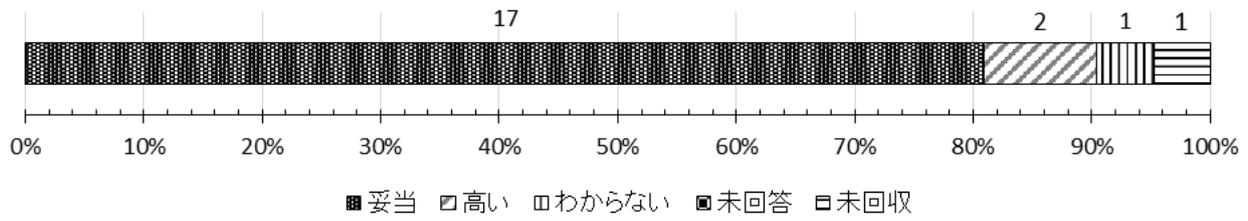


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=21)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥4,000 (n=21)



2. ファミリー大歓迎！無農薬栽培にこだわる渡名喜島の食材を満喫

ツアー紹介文：

無農薬栽培にこだわり続けている渡名喜島で、島の野草や野菜を収穫します。集めた食材はお食事でお召し上がりください。フリータイムは、古き良き沖縄の原風景が残る渡名喜島で、ゆったりとした島時間をご家族でお過ごしください。国の重要伝統的建造物保存地区に指定された琉球古民家が並ぶ集落や自然の絶景ポイントなど、数多くの写真スポットがある島でもあります。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	7:40	集合
	7:55	【結団式】事業説明、諸連絡など
	8:30	泊港よりフェリーにて出発
	10:15	渡名喜港到着、コーディネーターと合流 徒歩にてオリエンテーション会場へ移動
	11:00	【オリエンテーション】会場：ふくぎ食堂
	11:30	昼食 徒歩にてモニタープログラム会場へ移動
	13:00	【モニタープログラム】 ファミリー大歓迎！無農薬栽培にこだわる渡名喜島の食材を満喫 ・山菜採り、島野菜収穫 会場：農産物加工場
	16:00	終了、フリータイム 徒歩にて夕食交流会会場へ移動
	18:30	【夕食交流会】会場：ふくぎ食堂
	20:00	終了、徒歩にて宿泊先へ移動 (宿泊：島内民宿)
2 日 目	8:00	朝食
	8:30	【振り返りゆんたく会】会場：ふくぎ食堂 (意見交換・アンケート)
	9:30	終了、アンケート回収 徒歩にて渡名喜港へ移動
	10:05	渡名喜港よりフェリーにて出発
	11:50	泊港到着、解散

実施写真：



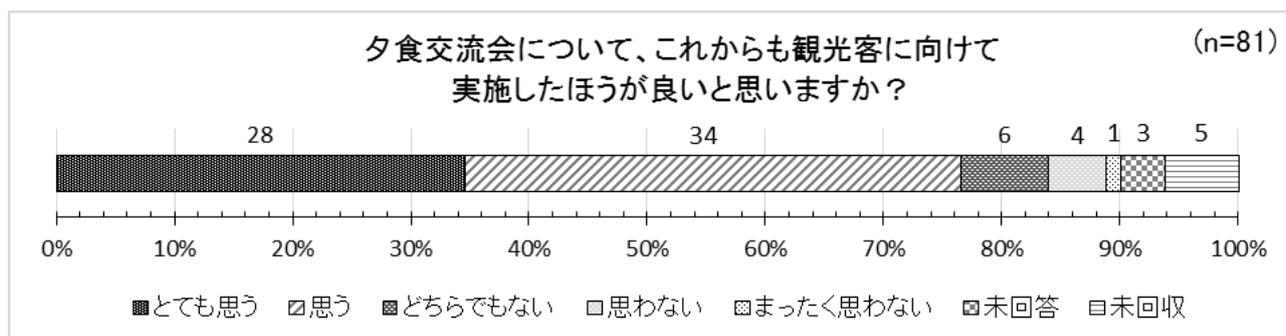
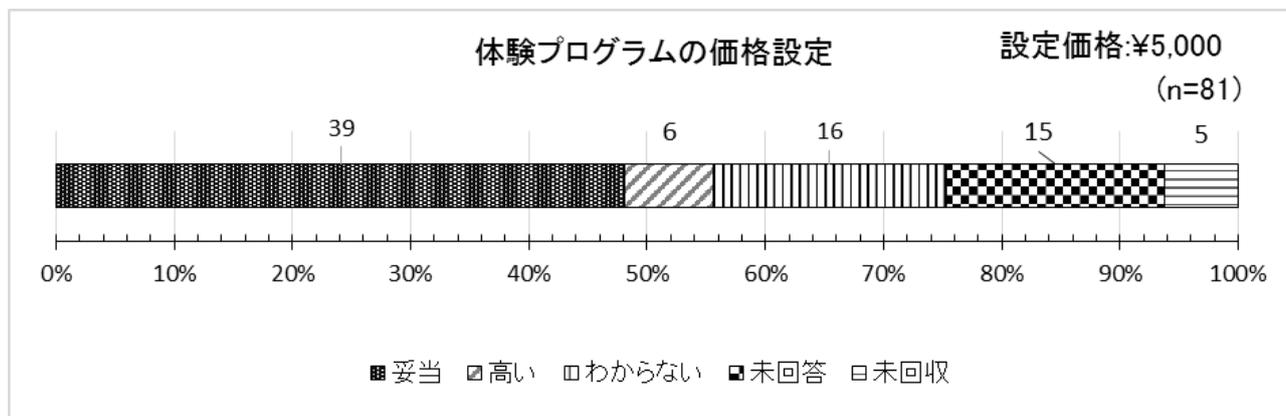
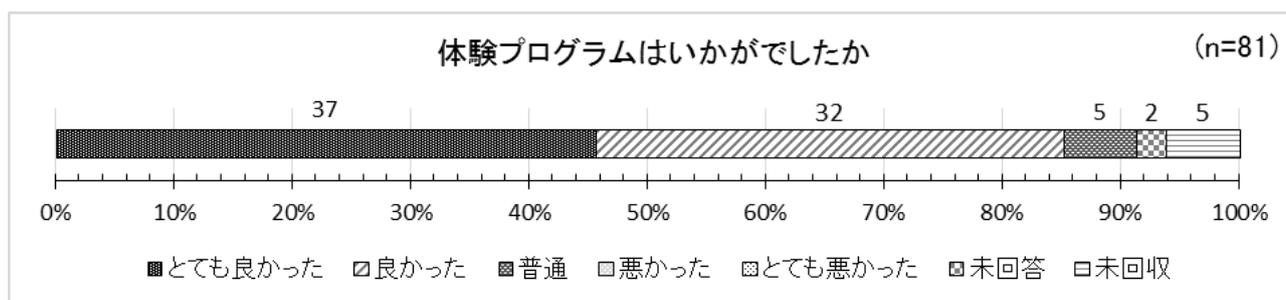
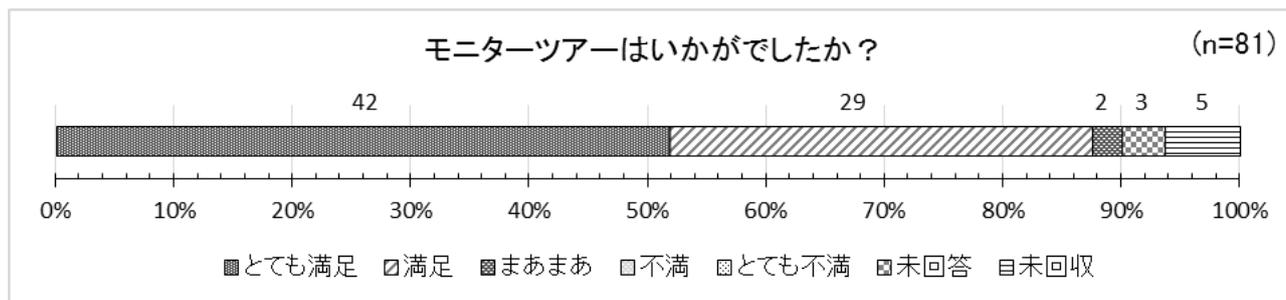
■成果

- ・ファミリー向けプログラムを造成する事で、受入れターゲットの幅を広げる事に繋がった。

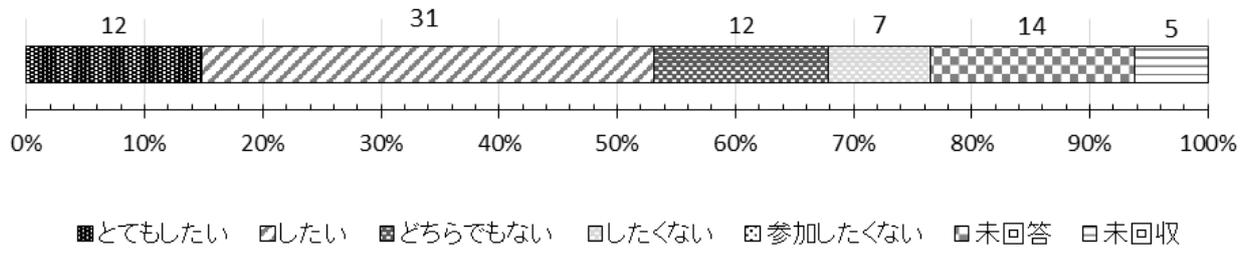
■課題

- ・より多くの島の人を参画させる取り組みが必要。
- ・作業内容の説明方法やレシピも教えて欲しい、との声があった。説明内容や方法を工夫する事で、プログラムの質を向上させる事ができる。

モニターアンケート結果：

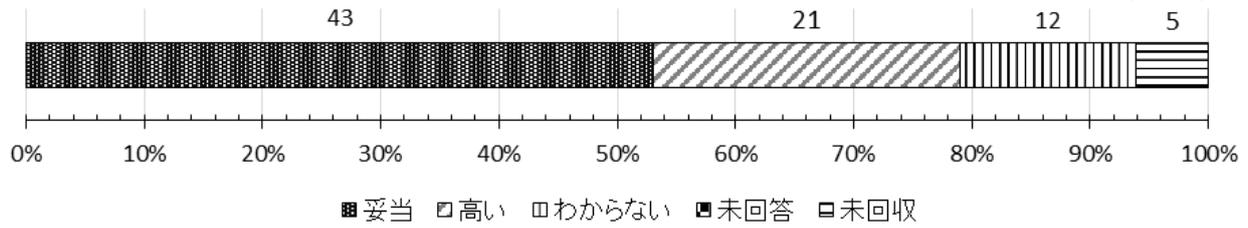


夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=81)



夕食交流会の価格設定

設定価格:¥3,000 (n=81)



3. 島自慢の味、冬の美味マンビカー干物づくりと釣り体験

ツアー紹介文：

渡名喜島の人達が普段手づくりしている自慢の味。脂がたっぷりのったマンビカーで干物づくりを行います。漁港内で釣りも行いますので、ゆったりとした雰囲気の中で、しまんちゅ体験を満喫できるプログラムです。

行程表：

日	時間	行程
1 日 目	7:40	集合
	7:55	【結団式】事業説明、諸連絡など
	8:30	泊港よりフェリーにて出発
	10:15	渡名喜港到着、コーディネーターと合流 徒歩にてオリエンテーション会場へ移動
	11:00	【オリエンテーション】 会場：ふくぎ食堂
	11:30	昼食 徒歩にてモニタープログラム会場へ移動
	13:00	【モニタープログラム】島自慢の味、冬の美味マンビカー干物づくりと釣り体験 ・釣り体験 会場：農産物加工場
	15:00	終了 ・干物づくり 会場：農産物加工場
	17:00	終了、フリータイム 徒歩にて夕食交流会会場へ移動
	18:30	【夕食交流会】 会場：ふくぎ食堂
	20:00	終了、徒歩にて宿泊先へ移動 (宿泊：島内民宿)
2 日 目	7:30	【モニタープログラム】島自慢の味、冬の美味マンビカー干物づくりと釣り体験 ・干物干し
	8:00	朝食
	8:30	【振り返りゆんたく会】 会場：ふくぎ食堂 (意見交換・アンケート)
	9:30	終了、アンケート回収 徒歩にて渡名喜港へ移動
	10:05	渡名喜港よりフェリーにて出発
	11:50	泊港到着、解散

実施写真：



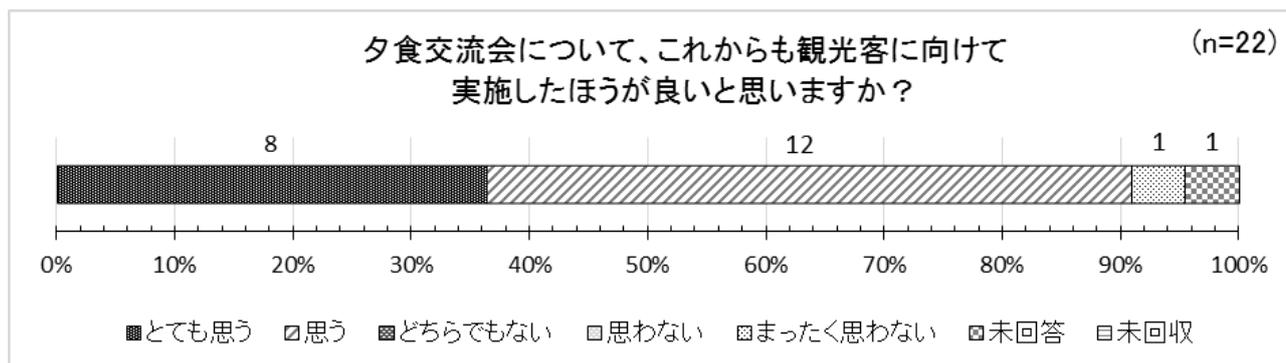
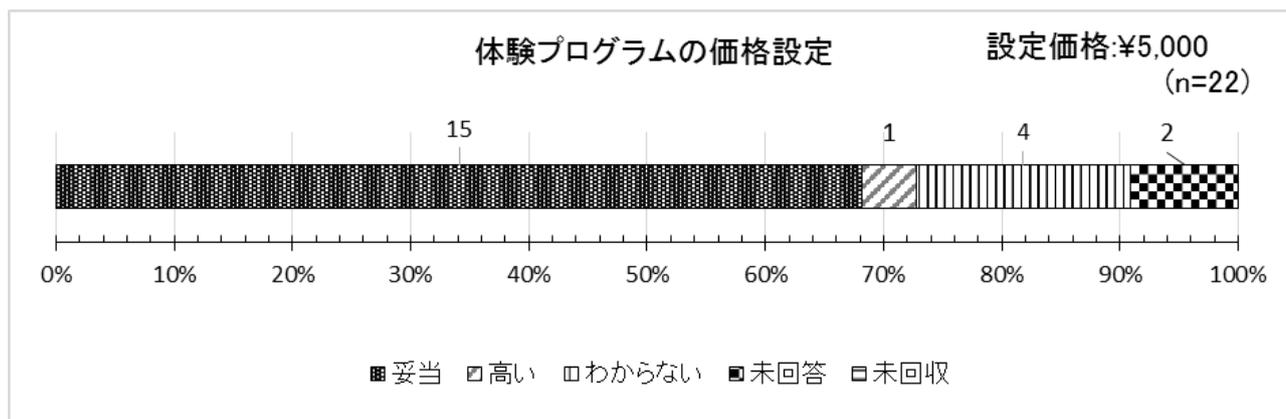
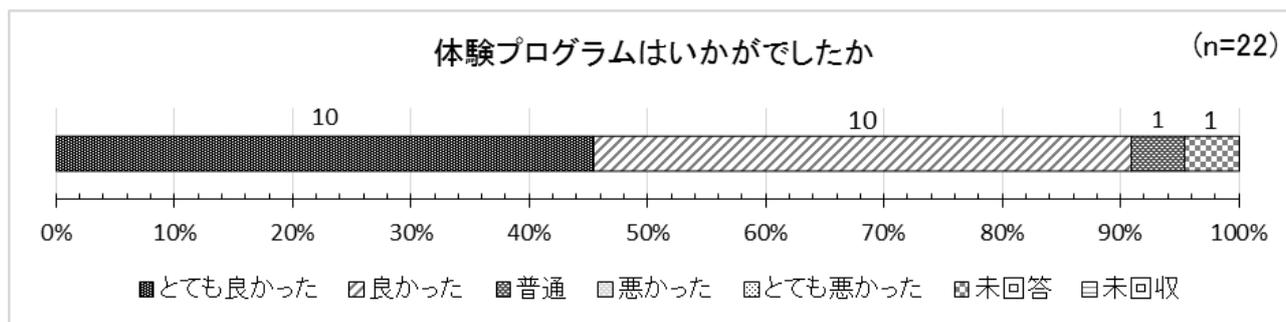
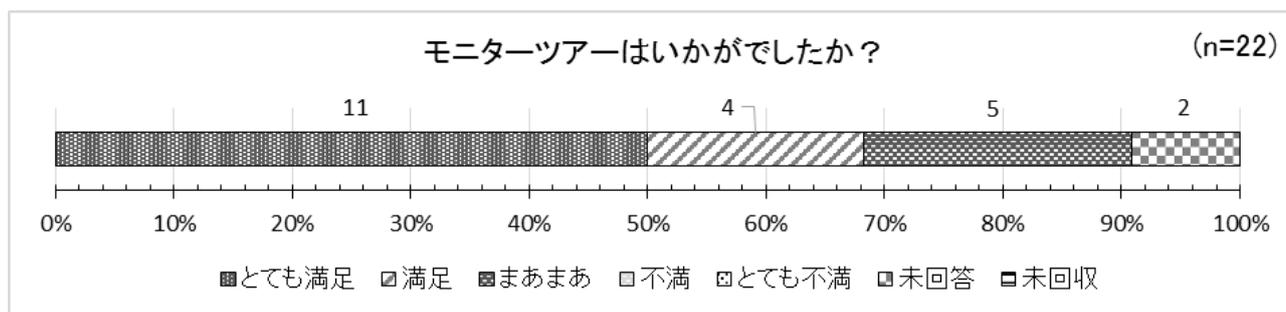
■成果

- ・島の人達の暮らしを素材としたプログラムが造成された。
- ・新しいガイド発掘に繋がった。

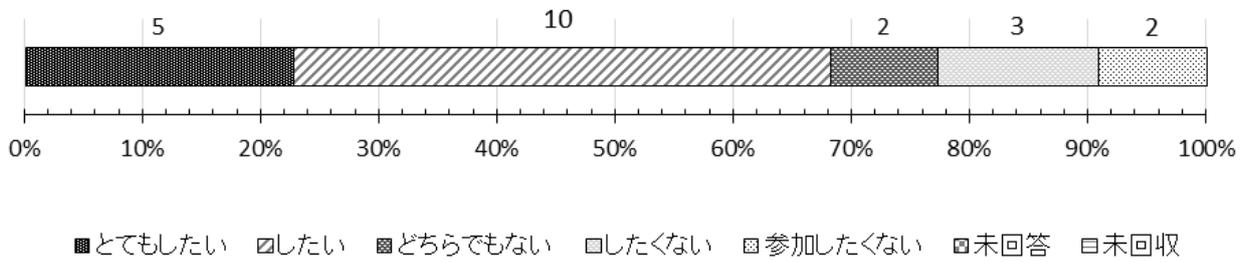
■課題

- ・事前の段取りや準備不足を指摘する声があがっていた。
- ・釣りができなかった事について不満の声をあげるモニターが多かった。釣りができない場合でも満足度を維持するための代替内容を検討しておく必要がある。

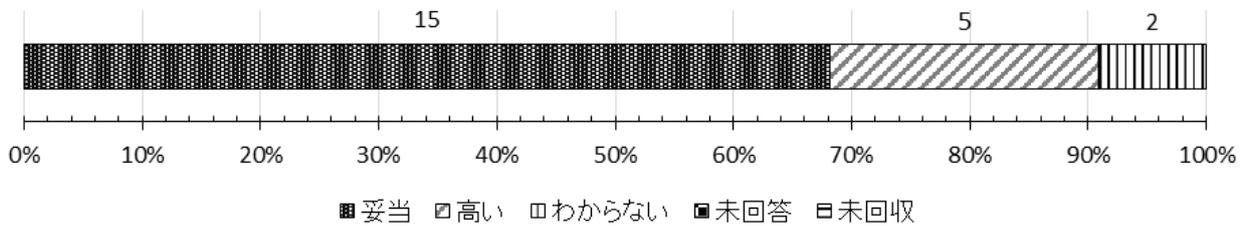
モニターアンケート結果：



夕食交流会の価格について、自費(助成無し)でも参加したいと思いますか？ (n=22)

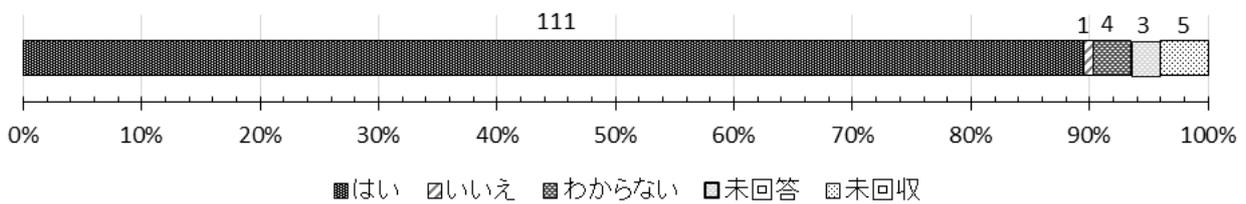


夕食交流会の価格設定 設定価格:¥4,000 (n=22)

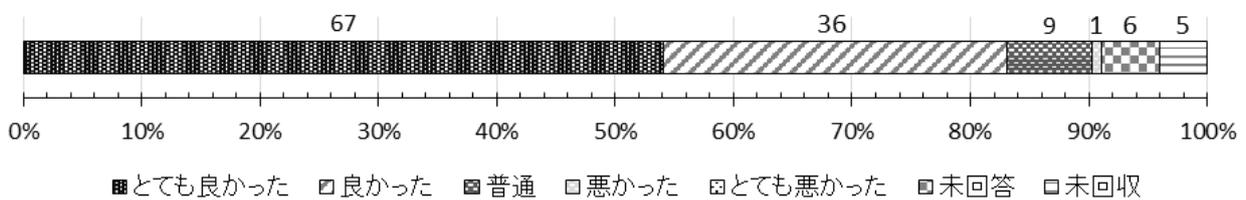


第5項 島に関するアンケート結果

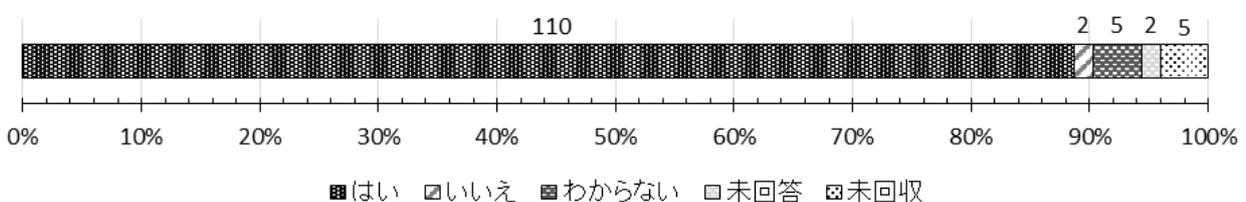
離島の重要性・特殊性・魅力に対する理解が深まりましたか？ (n=124)



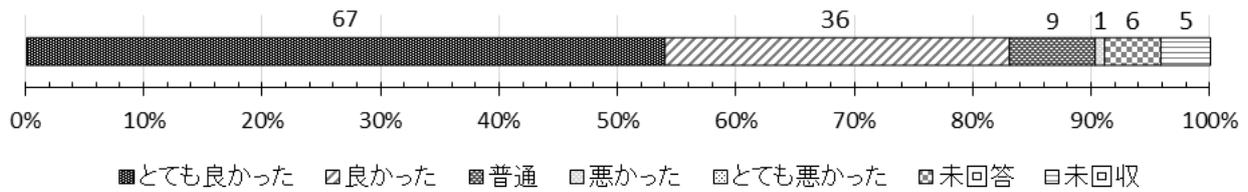
島に着いてからのコーディネート(段取り)はいかがでしたか？ (n=124)



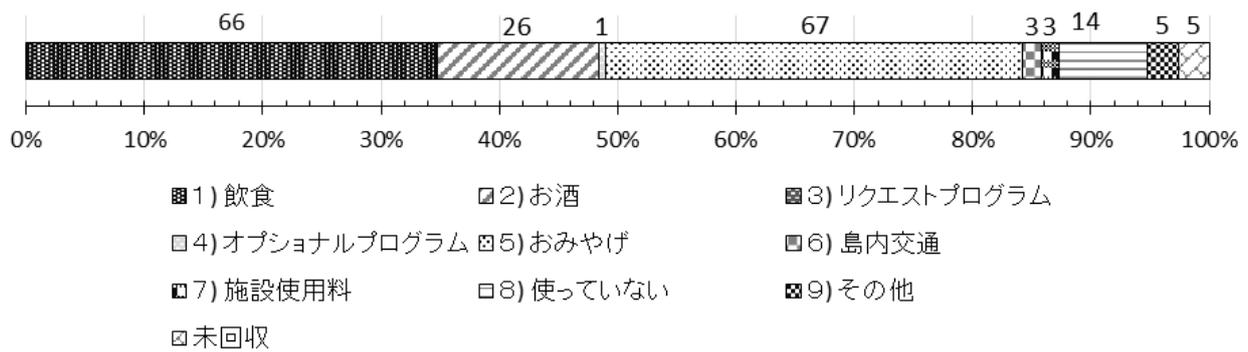
県内の他の離島にも行ってみたいと思いますか？ (n=124)



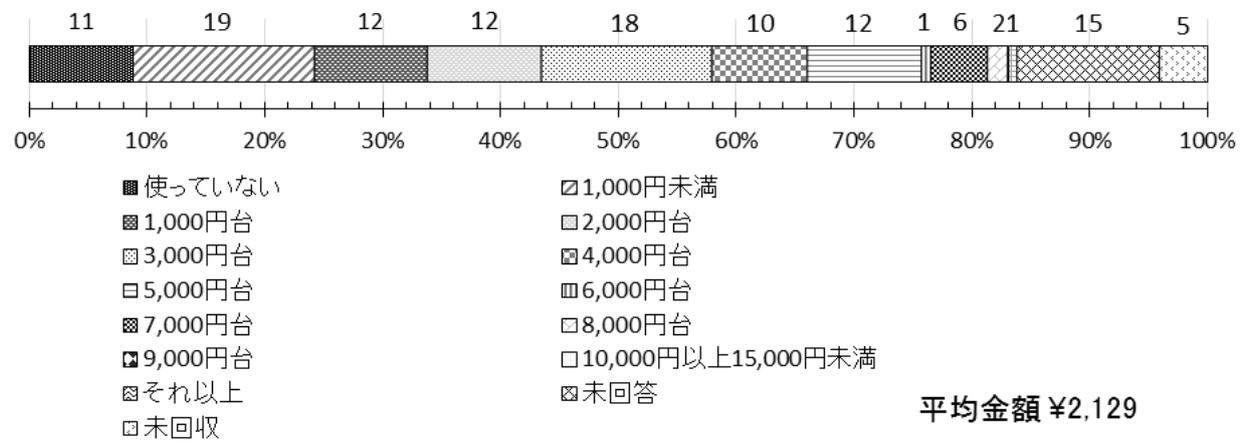
島に着いてからのコーディネート(段取り)はいかがでしたか？ (n=124)



何に対してお金を使いましたか (※複数回答可)



使用した合計金額 (n=124)



第6項 島の声

- ・受入れを通じて、島の人が「旅行者は体験する事で満足度が高まりかつ島内消費も増える」という経済の循環を実感する事ができ、次年度は参加者が広がる雰囲気が出てきている。
- ・地域の人達との交流により、モニターが渡名喜島の状況や苦勞を理解し、渡名喜島を応援してくれる人達が出てきた。
- ・小さな離島は PR する機会がなかなかないため、このような事業を通じて渡名喜島の魅力を発信できるので、今後も有効に活用していきたい。
- ・本年度は3つの新規プログラム造成と新しいガイドの発掘に取り組む事ができた。次年度はお年寄りが活躍できるプログラムを開発し、島の活性化に繋げていきたい。
- ・コーディネーターがコーディネート業務を一人で担っているうえにガイドの役割も担っている。継続的かつ安定的に取り組むためにも、コーディネーターやガイドの育成が必要である。
- ・1泊2日と2泊3日の行程で実施したが、1泊2日のツアーに参加したモニターから「日数が短い」との声が多々挙がった。次年度は2泊3日のツアーを中心に取り組む。

第7項 参加者の声

- ・訪れてみて初めて島の暮らしや民家の佇まい等に関心を持ちました。ゆったりとながれる島の時間にとっても癒されました。
- ・南風原さんの心配りは親切丁寧で感じも良く良かったです。
- ・島のお母さん達と交流しながら特産品(島ニンジン等)山菜料理を作る体験がすばらしい。今回、収穫物が少なかったなので、収穫できる作物に合わせた時期的なプログラムの企画にしてはどうか。
- ・子連れが多かったので、島のお母さん方がクッキー作りをさせてくれた点が良かった。クッキーを袋詰めして持ち帰りができた事に満足度が高かった。
- ・野菜収穫の時の説明や時間配分をもう少し確実にした方が良いと思いました。料理体験では段取りや料理の説明があればもっと良かったと思います。
- ・厳しい環境の中にも住んでおられる方々が生き生きして頑張っている現状を確認できた。島の方々の優しさも感じられた。

第8項 成果

本年度は3つのプログラムが生まれたが、コーディネーターからは新しいプログラムのアイデアも数多く出てきていることから、今後は島の資源を活用したプログラム造成も期待することができる。

16回の受入れを通して、島の人達が「人を受け入れる事の楽しさ」と「定期的に人が来る事による島への波及効果」を体感できた様子だった。その事は今後の観光への取り組みの機運を高め、地域住民の巻き込みにも繋げる事ができたと言える。次年度から始まる活性化組合の受入れの土台を作る事にも繋がり、次年度以降のより活発な取り組みが期待できる。

第9項 課題

今後、観光の継続的な受入れを行うための人材育成が急務である。育成を担う組織がまだないため、行政と連携した取り組みが必要である。

また、宿泊施設の課題としては、お手洗いと浴室が屋外に設置されている事が事前に周知されていなかったため、クレームが発生した事例があった。現代では、お手洗いと浴室が屋外に設置されている事や食事に抵抗を感じるモニターもいるため、ツアー募集時やしおりなどで十分に周知し、クレーム発生を回避する取り組みが必要である。また、幼児を受け入れた際に施設の備品が損害を受け、コーディネーターへの報告がない事例もあった。島の受入れ意欲を低下させないためにも、モニターのモラル向上を図る取り組みも必要であると思われる。

更には、冬季の欠航率の高さとそれに伴う自己負担も課題となった。ツアー実施時期の再検討や欠航時に係る事前説明などを丁寧に行い、参加者の不安や不満軽減にも取り組む必要がある。